



平成23年2月23日

各位

会社名：株式会社アルチザネットワークス
代表者名：代表取締役社長 床次 隆志
(コード番号：6778 東証マザーズ)
問い合わせ先：取締役管理本部長 清水 政人
(連絡先：042-529-3494)

業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、平成22年9月2日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、平成23年7月期第2四半期累計期間において繰延税金資産の一部を取崩しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成23年7月期 第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (平成22年8月1日～平成23年1月31日)
(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,100	5	12	9	円 銭 121.85
今回発表予想 (B)	487	△163	△148	△273	△3,405.61
増減額 (B-A)	△612	△168	△160	△283	—
増減率 (%)	△55.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成22年7月期第2四半期)	871	△76	△54	△55	△642.75

(2) 修正の理由

第2四半期累計期間におきましては、主力であるモバイルネットワークテスト分野の次世代移動体通信方式のLTE (Long Term Evolution) に対応した製品の国内及び海外の通信事業者並びに通信機器メーカーへの接続試験を実施すると同時に、製品の機能追加等の開発を行ってまいりました。製品需要の増加並びに通信事業者及び通信機器メーカーでの当社製品を使用したテスト時期の本格化を、当初は第2四半期からと見込んでおりましたが、それらの需要が第3四半期以降で落ち込んだため前回予想の売上高を大幅に下回る見通しとなりました。

利益面につきましては、従前より取り組んでおります原価低減の効果はあるものの、売上の大幅な減少を賄いきれず、研究開発投資も継続していることにより大幅に減少する見込みとなりました。さらに、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、平成22年9月2日に公表いたしました業績予想を大幅に下回ることとなりました。

(3) 平成 23 年 7 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 8 月 1 日～平成 23 年 7 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,400	160	170	183	円 銭 2,275.36
今回発表予想 (B)	1,900	5	24	△103	△1,289.17
増減額 (B-A)	△500	△155	△146	△286	—
増減率 (%)	△20.8	△96.9	△85.9	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 7 月期)	1,977	△138	△101	97	1,161.71

(注) 当社は、平成 23 年 7 月期より連結決算を開始し、当期は連結・個別ともに業績予想の数値が同じため連結表示みのとしております。

(4) 修正の理由

通期の業績につきましては、当社製品の需要の回復を見込むと共に、上期から活動を継続している海外向け及び新規の通信事業者並びに通信機器メーカーへの売上を見込んでおります。

利益面につきましては、第 2 四半期累計期間に比べ、売上は増加するものの上期の赤字を賄いきれず、研究開発投資も継続する結果、平成 22 年 9 月 2 日に公表いたしました業績予想を大幅に下回ることとなりました。

2. 繰延税金資産の一部取崩しについて

通期の業績の見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、平成 23 年 7 月期第 2 四半期の個別決算及び連結決算において繰延税金資産の一部を取崩し、法人税等調整額として 124 百万円を計上することといたしました。

なお、平成 23 年 7 月期の 1 株当たりの配当予想に変更はございません。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により本業績予想数値とは異なる可能性があります。

以上